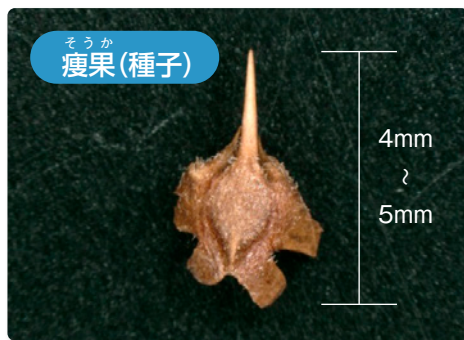


# メリケントキンソウの生態と防除

外来植物の「メリケントキンソウ」は、果実（種子）に硬いトゲを持ち、公園の芝生や花壇等において人やペットの肌に刺さってケガをさせる恐れが指摘されています。



## メリケントキンソウの生態

- キク科イガトキンソウ属の南米原産の一年生雑草。
- 日本では1930年に和歌山県で初めて侵入を確認。
- 畦畔や芝地などに生育するが、主に公園やグラウンド等で発生が多い傾向。
- 春、4～6mm程度の鋭いトゲを有した果実（瘦果<sup>そうか</sup>（種子））を形成。靴底やタイヤなどに種子が刺さって運ばれることで生息域を拡大。
- トゲが手足に刺さることから、発生が甚大な地域では、行政が対策マニュアルを作成したり、立て看板やインターネットなどを通して市民への注意を促している。



緑をつくり、育て、守る。



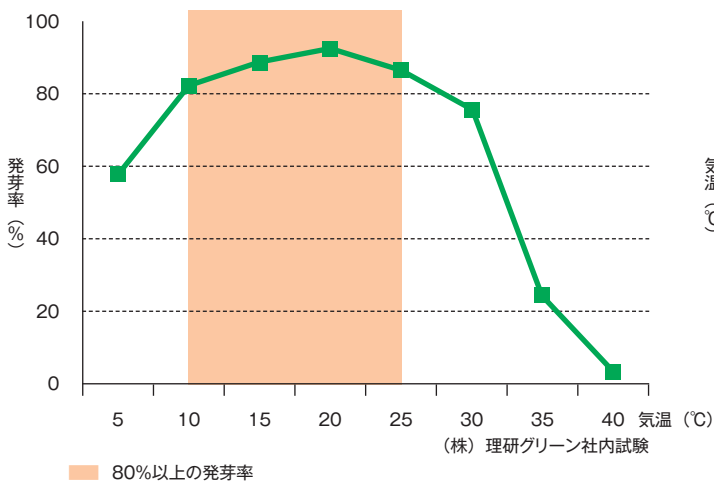
株式会社 理研グリーン

# メリケントキンソウの発生消長

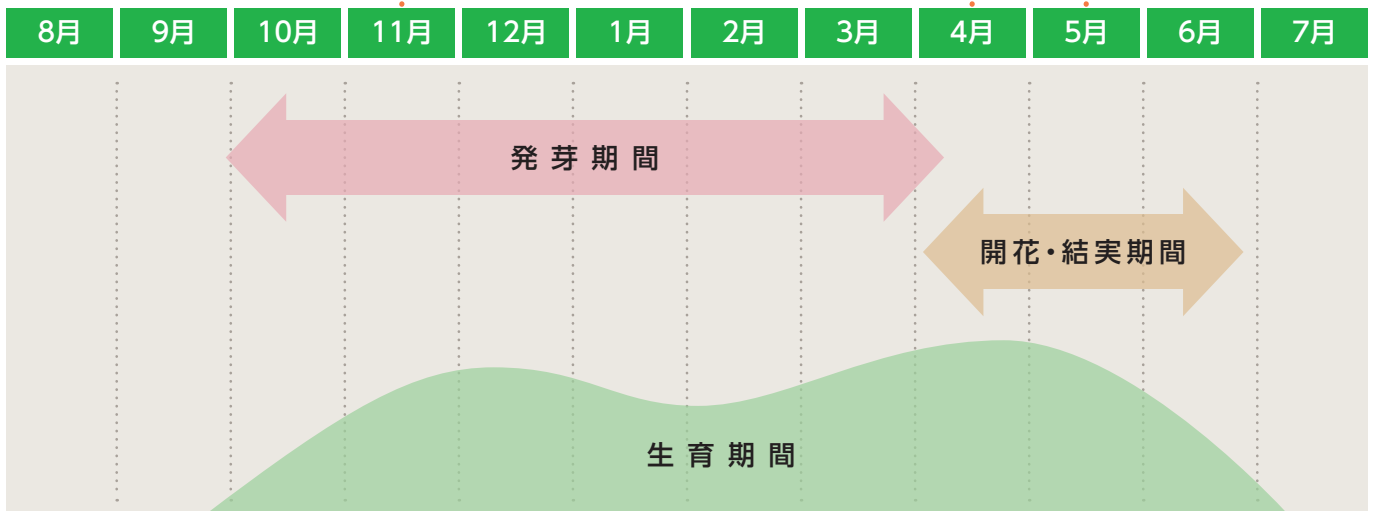
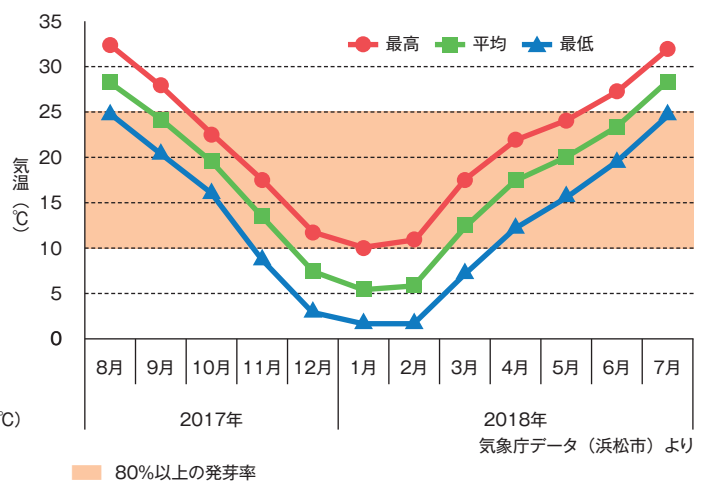
メリケントキンソウは、秋から春にかけて発芽し、トゲのある種子を春に結実します。刈込みによる防除が難しいため、秋もしくは春の結実前に広葉雑草に登録のある薬剤を使用することが効果的です。

しかし、公園などの薬剤の使用が控えられている場所では、防除手段が限られ、防除が困難となっています。

◎種子の発芽率



◎種子の発芽と気温の関係



# メリケントキンソウの防除対策

公園などの薬剤の使用が制限されている場所では、除草剤の使用に対して抵抗があるかもしれません。しかし、メリケントキンソウを防除しないと、人やペットがケガをしてしまう危険性があります。ここでは国土交通省が公開する「NETIS\*」に登録され、抑草剤としての登録も有する「ショートキープ液剤」を利用した試験事例を紹介します。

\*NETIS：新技術の活用推進のため、新技術に係る情報の共有及び提供を目的に整備された、国土交通省が運用する「新技術システム (New Technology Information System)」

## 試験事例 ①



## 試験結果 ①

無処理区の茶色い部分は、メリケントキンソウの種子です。

この場所に人が寝転んだり、ペットが通ると種子のトゲが刺さり、ケガをする恐れがあります。一方、『ショートキープ液剤』を散布した箇所は、メリケントキンソウが種子をつける前に枯死したため、ケガの要因となる種子が有りません。

また、ショートキープ液剤は日本芝に対して選択性があるため、**芝を枯らさずにメリケントキンソウを防除**しました。

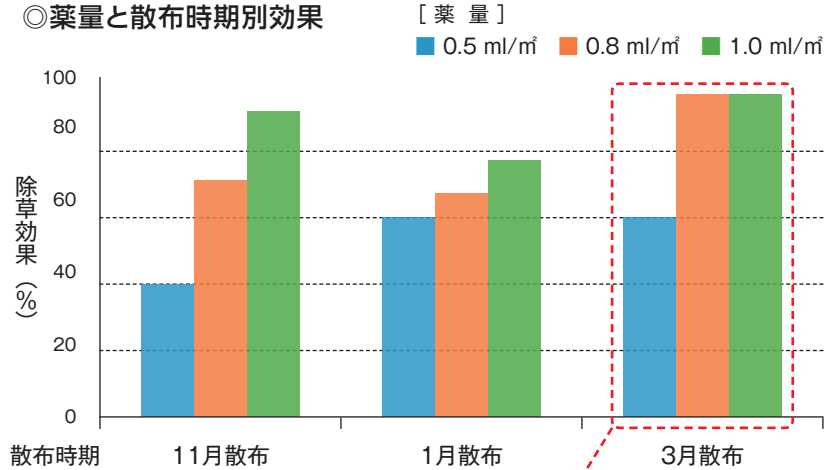
秋季（11月）の処理でもメリケントキンソウの防除効果が確認できましたが、後発個体の発生がやや見られました。

春季（3月）処理では11月処理よりも**後発個体が少なく、最も高い防除効果**を示しました。

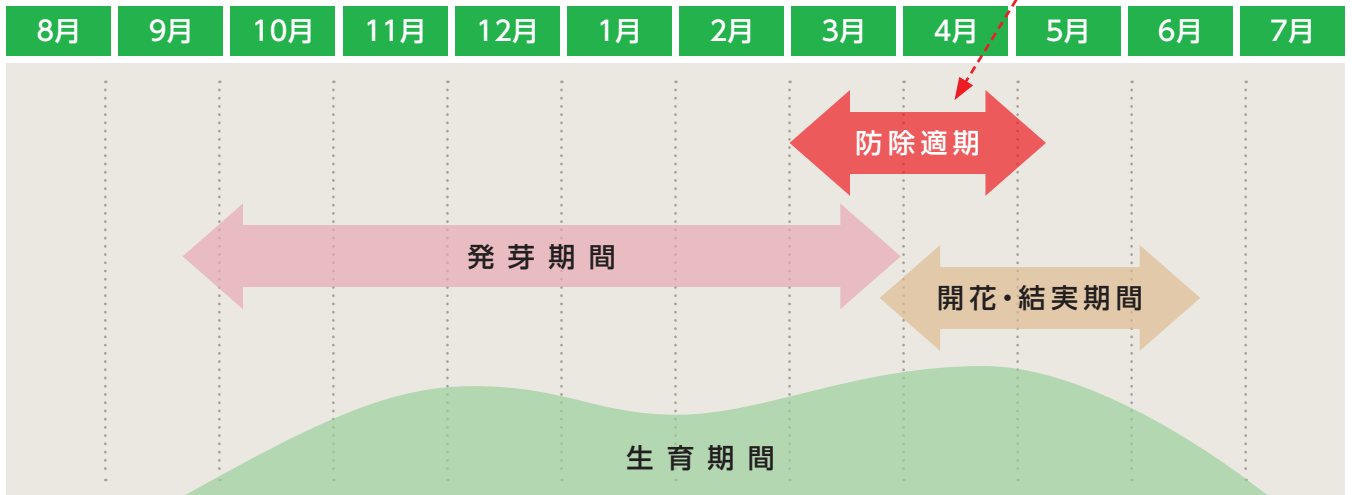
## 試験結果 ②

試験場所：静岡県公園内芝生地  
 散布水量：200ml/m<sup>2</sup>  
 散布条件：蓄圧式噴霧器にて散布  
 試験対象：メリケントキンソウ  
 対象作物：ノシバ  
 散布日：2017年11月29日、2018年1月19日、  
 3月26日  
 調査日：2018年5月25日  
 試験結果：3月処理の本剤0.8、1.0ml/m<sup>2</sup>および11  
 月処理の1.0ml/m<sup>2</sup>において、メリケントキ  
 ンソウに対し高い除草効果が認められた。  
 ノシバに対する薬害は認められなかった。

◎薬量と散布時期別効果



## 防除時期



メリケントキンソウの防除には、後発個体の発生や処理時期の気温を考慮すると、**発芽終期にあたる3～4月に「ショートキープ液剤」(薬量0.8 ml/m<sup>2</sup>以上)** を処理することが最も有効と考えられました。



### VOICE

～メリケントキンソウのある公園にいた方から～

- ・あれ（メリケントキンソウ）は刺さると痛いから、無くなってくれると助かる。
- ・子どもが遊ぶ場所にあったら怖い。
- ・靴に（種子が）刺さったことがあった。
- ・種子を痛がるからペットを公園に連れて来れない。

などのご意見がありました。

メリケントキンソウを防除することで、利用し易い憩いの公園に！

## 発生分布 (弊社調査)

**注意!**

現在までに関東以西から九州までの比較的温暖な地域で発生が認められています。  
今後、温暖化の影響で発生地域の拡大が懸念されます。

- ・果実(瘦果)および種子に鋭いトゲを有し、ケガの原因となる。
- ・草丈が低く、刈込みによる除草は困難。



2020年9月時点

## 対策

### ① 現時点ではメリケントキンソウが未発生の場合

メリケントキンソウの侵入を早期発見できるように定期的に観察する。

**対策**

発見したら早めの駆除を行う。手取り除草、薬剤の利用等

### ② メリケントキンソウが高密度、広範囲に発生

繁殖を広げないために駆除が必要。広範囲に発生している場合、手取り除草は困難。

**対策**

芝生に選択性のある薬剤の利用が有効



**効果**

公園内のメリケントキンソウを含む広葉雑草が減り、芝などのイネ科主体の管理しやすい芝生に推移





芝生内に入り込んでいる  
メリケンキンソウ



そうか  
瘦果(種子)

結実

人やペットに刺さって  
危険です！  
見つけたら早めの対策を！

～薬剤防除も解決策のひとつ～

「理研ショートキープ液剤」(NETIS登録KT-140001-VE)の適用と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用目的	使用時期	使用量 (㎡あたり)		使用方法	※総使用回数	
					薬量 (ml)	希釈水量 (ml)			
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等	一年生及び 多年生雑草	草丈抑制 による 刈り取り 軽減	雑草生育期 または刈取後 (草丈30～50cm)	0.5～1.0	通常散布 100～200 少量散布 25～50	植栽地を 除く 樹木等の 周辺地に 雑草茎葉 散布	3回以内	
				雑草生育期又は 刈り取り後再生期	1.0	100～200			
				雑草生育期	0.5～1.0	100～200			
林木	林地	クズ	-	雑草生育期初期 (5～6月)	つる径 (cm)	使用量 (ml/株)	原液	つる注入 処理	3回以内
					2.0以下 2.1～3.0 3.1～4.0 4.1～5.0 5.1以上	0.5 1 1.5 2 適宜増量			
日本芝	-	一年生及び 多年生広葉 雑草		春夏期芝生育期 (雑草生育期)	0.5～1.0				3回以内
日本芝 (のしば)		メリケン カルカヤ		春夏期芝生育期 (メリケンカルカヤ 生育期)	0.75～1.0	100～200		雑草茎葉 散布	
西洋芝 (ペントグ ラス、ブル ーグラス)		スズメノ カタビラ	スズメノ カタビラ 出穂抑制	芝生育期 (スズメノカタビラ 出穂前まで)	0.1～0.2				

※本剤及びビスピリバックナトリウム塩を含む農薬の総使用回数